

ASDM (On-box Management) を使用した ASA FirePOWER モジュール (SFR) トラブルシューティング ファイル生成手順

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[ASDM でのトラブルシューティング ファイルの生成](#)

[トラブルシューティング ファイルのダウンロード](#)

[トラブルシューティング ファイルを生成する別の方法](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

このドキュメントは ASDM (オンボックス管理) を使用して ASA Firepower モジュール (SFR) でトラブルシューティング ファイルを生成する方法について説明します。

シスコ サポート エンジニアによって Firepower モジュール (SFR) からトラブルシューティング ファイルを送信するように要求された場合は、このドキュメントに記載されている手順を使用できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- ASA の知識 (適応型セキュリティ アプライアンス) ファイアウォール、ASDM (Adaptive Security Device Manager)
- Firepower アプライアンスの知識

使用するコンポーネント

- ASA Firepower モジュール (ASA 5506X/5506H-X/5506W-X、ASA 5508-X、ASA 5516-X)、ソフトウェア バージョン 5.4.1 以降を実行

- ASA Firepower モジュール (ASA 5515-X、ASA 5525-X、ASA 5545-X、ASA 5555-X)、ソフトウェア バージョン 6.0.0 以降を実行

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

トラブルシューティング ファイルには、一連のログ メッセージ、構成データ、およびコマンド出力が含まれています。このファイルは、Firepower (SFR) モジュールのステータスを確認するのに使用されます。

この手順は、火力モジュール (SFR) が ASDM によって管理されている場合に適用されます。

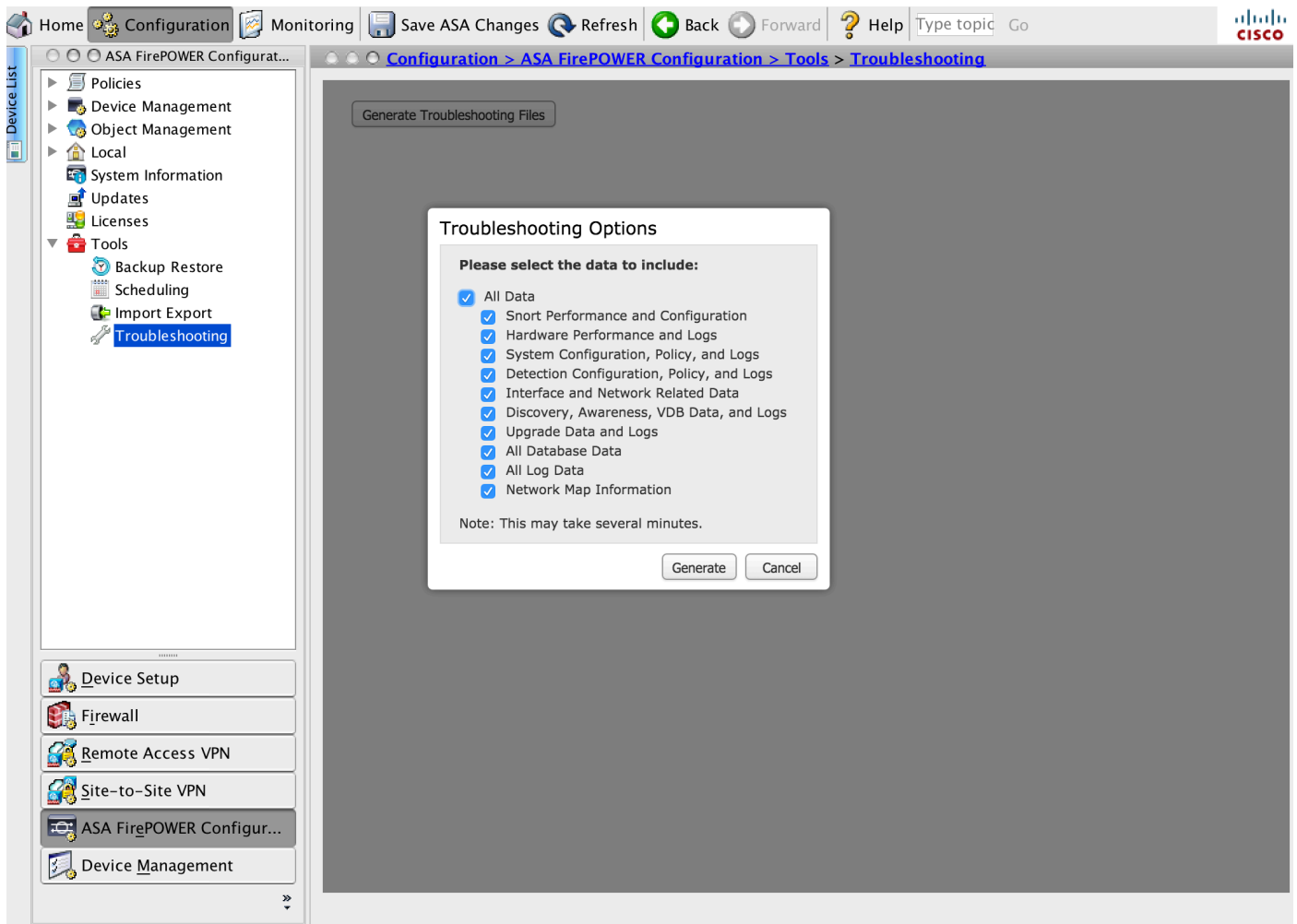
Firepower モジュール (SFR) が Firepower Management Center/FireSIGHT/Defense Center で管理されている場合は、次の記事を参照してください。

[Sourcefire/Firepower アプライアンスのトラブルシューティング ファイルの生成手順](#)

ASDM でのトラブルシューティング ファイルの生成

トラブルシューティング ファイルを生成するには、次の手順を実行します。

1. ASDM にログインしてから、デバイス ダッシュボード上の ASA Firepower のステータスを確認し、それが実行中のステータスであるか確認します。
2. ASDM 設定パネルで、[Configuration] > [ASA Firepower Configuration] > [Tools] > [Troubleshooting] に移動します。
3. [Generate Troubleshoot] オプションをクリックしてトラブルシューティング ファイルを生成します。[Troubleshooting Options] ポップアップ ウィンドウが表示されます。
4. [All Data] チェックボックスをオンにして利用可能なすべてのトラブルシューティング データを含むレポートを生成するか、個別のチェックボックスをオンにしてレポートをカスタマイズします。



5. [Generate] をクリックすると、ASDM がトラブルシューティング ファイルを生成します。

[Monitoring] > [ASA Firepower Monitoring] > [Task Status]

トラブルシューティング ファイルのダウンロード

生成されたトラブルシューティング ファイルのコピーをダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. ASDM で [Monitoring] > [ASA Firepower Monitoring] > [Task Status] に移動し、[Task Status] ページを開きます。
2. ASDM がトラブルシューティング ファイルを生成し、タスクのステータスが [Completed] に変更されたら、生成したトラブルシューティング ファイルに対応するタスクを探します。
3. 生成されたファイルの取得リンクをクリックし、ブラウザの指示に従ってファイルをダウンロードします。

Task Status

Job Summary Remove Completed Jobs Remove Failed Jobs

Running 0
 Waiting 0
 Completed 1
 Retrying 0
 Failed 0

Jobs

Task Description	Message	Creation Time	Last Change	Status
Generate troubleshooting files jobs for Sourcefire3D 0 Running 0 Waiting 1 Completed 0 Retrying 0 Failed				
Generate troubleshooting files for Sourcefire3D	Click to retrieve generated files.	2015-12-12 14:05:45	2015-12-12 14:11:14	Completed
Generate Troubleshooting Files				

Last Updated: 13/12/15 8:35:32 AM

: *.tar.gz

トラブルシューティング ファイルを生成する別の方法

ASDM から Firepower モジュールにアクセスできない場合、ASDM の指示どおりにはトラブルシューティング ファイルを生成できません。そのような場合には、アプライアンスの CLI を使用してトラブルシューティング ファイルを生成することができます。

Firepower モジュールの管理 IP アドレスに直接 SSH でアクセスするか、CLI を使用して ASA にログインし、コマンド (`# session sfr console`) を実行して Firepower モジュールにログインすることができます。

Firepower モジュールに次のコマンドを入力し、トラブルシューティング ファイルを生成します。

```
> system generate-troubleshoot all
Starting /usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl...
Please, be patient. This may take several minutes.
指定されたトラブルシューティングのオプション コードは ALL です。
```

トラブルシューティング情報が `/var/common/xxxxxx.tar.gz` に正常に生成されます。

トラブルシューティング ファイルのコピー

SCP サーバにトラブルシューティング ファイルをアップロードするには、次のコマンドを実行します。

>**System file secure-copy** <hostname> <username> <destination_folder> <troubleshoot_file>

: hostname /IP username destination_folder troubleshoot_file

SCP

- [– Cisco Systems](#)